



今国会に提出された自動車運転過失致死傷罪を新設する刑法改正案。厳罰化を進める内容だが、被害者遺族の団体が「まだ甘い」として要望書を出した。なぜなのか。その団体の幹事を務める千葉市の井上保孝さん(57)、郁美さん(38)夫妻に聞いた。

(井上恵一朗)

知りたい

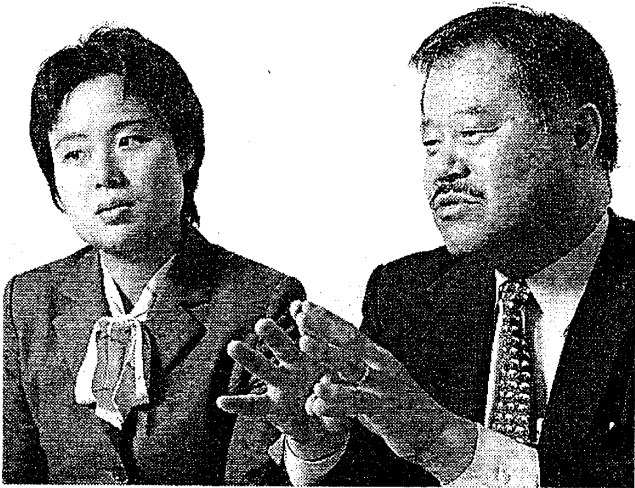


インタビュー

Interview

## 東名事故遺族 井上保孝・郁美さん夫妻

# 「逃げ得」防ぐ法改正を



「厳罰化を進める法案がでたところで要望書を出したわけは。保孝「法の抜け穴がふさがれていない。この改正では、私たちが訴えてきた『逃げ得』がなくならないということについて国会で知恵を出しあってほしいと考えた」

「01年に危険運転致死傷罪ができて、ひいた相手を助けず逃げた方が軽い罪になるケースが出ていると。郁美「厳罰がまっぴりから悪質な運転をしてはいけないという認識が広まることを期待している。が、飲酒運転をする

### このひと

い。のうえ・やすたか、いくみ 99年に東名高速で飲酒運転のトラックに追突され3歳と1歳の娘を失った。署名活動が刑法の危険運転致死傷罪新設につながる。夫妻が幹事の「飲酒・ひき逃げ事犯に厳罰を求める遺族・関係者全国連絡協議会」は、今月、刑法改正案の自動車運転過失致死傷罪が懲役7年以下では「納得できない」と要望書を法相に提出。

- 【現行法】
- 刑法・危険運転致死傷罪→20年
  - 同・業務上過失致死傷罪→5年
  - 道路交通法(ひき逃げ)→5年
  - 同(酒酔い運転)→3年
- 【改正案】
- 刑法・自動車運転過失致死傷罪→7年
  - 道路交通法(ひき逃げ)→10年
  - 同(酒酔い)→5年
- 交通事故関連法の刑罰(上限)

「自動車運転過失致死傷罪は、その翌月に埼玉県川口市で起きた園児死傷事故が背景にある。郁美「今年初めに遺族と会い、現場を見た。住宅街の細い道で、角から

「交通事故は誰でも犯す可能性がある。『過失失犯』への厳罰化に批判的な声もある。郁美「川口の事故のよう

「レベルでしか数値が出なかった。色々な手だてが横行している」

「自動車運転過失致死傷罪は、その翌月に埼玉県川口市で起きた園児死傷事故が背景にある。郁美「今年初めに遺族と会い、現場を見た。住宅街の細い道で、角から

「交通事故は誰でも犯す可能性がある。『過失失犯』への厳罰化に批判的な声もある。郁美「川口の事故のよう

「4人も亡くなって、懲役5年でもいいのか。多くの人がおかしいと思うでしょう。これまで限りなく故意犯に近いのに過失犯にしか問えなかった悪質な事故に対し、厳しい罰を言い渡せるシステムがあつていいのでは」

「娘2人を事故で失ってから8年になる。郁美「法改正のための運動もまだ続けるが、今後は日本でも加害者に本格的な更生・教育プログラムを取り入れる活動にも力を入れたい。昨年、米国で効果をみせている制度を見学してきた」

保孝「私たちは厳罰化だけで悪質・危険な運転を繰り返す加害者の心理と行動を変えていかないと。事故を起こす前に防ぐことが大切。続けてきた講演活動にも、そうした思いを込めている」

(敬称略)